



JEAG の国際活動

~JEAG アップデート 迷惑メールの現状とその対策について~

第4回迷惑メール対策カンファレンス

2007.05.28

櫻庭 秀次

(株)インターネットイニシアティブ / JEAG

迷惑メールをとりまく状況

- ◆ 単なる迷惑からより深刻な問題へ
 - phishing など個人情報の不正入手による直接的な金銭被害
2006年の金融被害額は26億ドルを予想 (Gartner 2006.11.9)
 - malware 配布の手段としての利用 → 知らない間に加害者へ (bot 化)
 - フィルタ回避のための技術改革 (image spam, 目くらまし words, botnet, etc)

- ◆ 制限を強めると届かなくなるジレンマ
 - 迷惑メールフィルタの機能を強めると届かなくなる可能性
→ False Positive はなるべく避けたいが
 - Real Time Black/Block List の利用増加
→ 登録された場合の送信側の被害が大きい
→ 解除方針が不明瞭, 連絡先が分かりづらい等の問題点も
 - 独自の Block Policy による防御も増える傾向に
→ 判断の要因が複雑でより解除が難しく

迷惑メール対策

- ◆ 受け取らないよりもまず出さない努力を
 - 受信側に届くまで Internet 上を流れている → 無駄な通信
 - 受信するためのコスト → 受信設備の増加
 - 無駄なメールを無くすことにより正しいメールがきちんと届く仕組みを
 - 正しいメールはどれかを送信側が示すことが必要

→ OP25B (Outbound Port 25 Blocking)

→ 送信ドメイン認証 (Sender Authentication Technology)

→ これらを global で普及で普及させることが必要

国際的な取り組みの重要性

◆ Internet は Global な Infrastructure

- 国内発の迷惑メールは減少傾向 ← 様々な取り組みにより
- 海外からの迷惑メール送信は増加傾向
- Internet が整備されるにつれて迷惑メールも増加 → 新興国の出現
- Botnet により送信元の拡散化 → もはや特定の国だけの問題ではない
- 迷惑メール (spam) 送信は既にビジネスとして確立
→ **Less Risk:** less violence, less jail time, more profit

◆ Global な視点

- 日本の対策状況の説明
→ 対策事例 (OP25B, SenderAuth, 携帯事業者の取り組み) の共有
→ 日本がもはや迷惑メール送信国ではないことの認知
→ 日本の評判 (reputation) の向上 → 日本発メールのブロック抑制
- 意思疎通の確保
JEAG: 国内での話し合いの場 → 同じ枠組みを Global でも

MAAWG - I

◆ Messaging Anti-Abuse Working Group

- JEAG 設立の契機となった国際的迷惑メール対策団体
- 2004年1月 Openwave が主体として創設, IIJ は立ち上げから参加



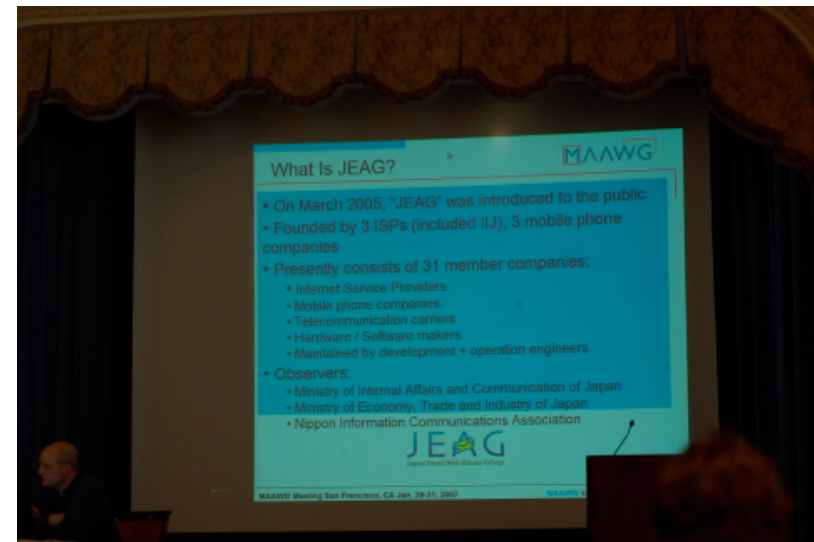
◆ 構成

- メンバ企業は Sponsor Members (16), Full Members (16), Supporting Members (73) の参加区分
- Group 構成
 - ◆ Anti-Phising SIG
 - ◆ Collaboration Committee
 - ◆ Communications Committee
 - ◆ Public Policy
 - ◆ Technical Committee
 - Botnet/Zombies Sub Committee
 - Sender's Subcommittee
 - SMTP Reply Code SIG
 - ◆ Wireless SIG



MAAWG - II

- ◆ Founders Meeting
 - 2004.4.19-20 @ Boston, USA
- ◆ General Meeting
 - 3回/年程度開催
 - 2006.10.24-26 8th General Meeting @ Toronto, Canada
 - 2007.01.29-31 9th General Meeting @ SanFrancisco, USA
 - 2007.06.05-07 10th General Meeting @ Dublin, Ireland



国際活動

◆ 2006.12.8: ITU Telecom World, Spam Workshop

- Session 4: Countering Spam: Country Experience
- “The Japanese Experience Countering Spam”



◆ 海外事情調査

- 2007.03.08 韓国 KISA (Korea Information Security Agency)
- 2007.03.19 OECD (Organisation for Economic-Co-operation and Development)
- 2007.03.20 ITU (International Telecommunication Union)

◆ 海外組織交流

- 2007.04.18 KISA と JEAG との技術交流
 - ◆ 韓国での OP25B 導入に際しての日本の事例紹介



今後に向けて

- ◆ 迷惑メールはもはや国内だけの問題ではない
- ◆ 出来ることをできるところから
 - 成功事例の共有と取り込み
- ◆ 国際的な会議の場を通じて連携を模索
 - 個別の事情に関する情報交換
 - 問題が生じたときの連絡先確保
 - 今後の対策の方向性を模索
- ◆ 迷惑メール対策には、技術、法制度、啓蒙活動、そして協調による総合的な封じ込めが重要